

2/15 五時



米軍の巡航ミサイル・トマホーク
(米海軍ウェブサイトから)

浜田靖一防衛相は14日記者会見で、政府が敵基地攻撃能力（反撃能力）の一環として取得を計画する米国製の長距離巡航ミサイル・トマホークについて、「2023年度に一括購入と結ぶ方針をあらためて表明しました。米国

浜田靖一防衛相は14日の記者会見で、政府が敵基地攻撃能力（反撃能力）の一環として取得を計画する米国製の長距離巡航ミサイル・トマホークについて、「2023年度に一括購入と結ぶ方針です。

一方、浜田氏は取得数について「わが国の実際の防衛能力を明らかにすることになる」として明瞭化にしました。また、FMSに基づく武器購入では、納入

トマホーク23年度一括購入 防衛相 取得数は明らかにせず

時期がしばしば遅れます。また、24年度以降、トマホークを搭載可能にするためにイージス艦の改修に着手しますが、大幅な改修となるため、計画通りとなるかは不透明です。

案どトマホーク取得費として2113億円、関連器材の取得費として1600億円。米軍は1月104億円を計上。政府は26年度からイージス艦への配備を開始し、27年度の配備完了を目指していく

トマホークは射程約1800キロ。米軍は1991年の湾岸戦争で初めて実戦に投入し、イラクやアフガニスタン、シリアなどへの先制攻撃で繰り返し使用。現在、米軍以外で保有しているのは英軍だけです。